



西小だより

山形市立西小学校
令和6年12月20日
校長 小林 聡

【学校教育目標】未来への夢をもって、豊かに学び、しなやかでたくましい子どもの育成

「言葉」の重さ・深さ・美しさ

先月、これまで様々な活動を通して多くの人々に影響を与えた谷川俊太郎さんが亡くなりました。「軽やかでいて、深い」と称されるその「言葉」で、「読後に不思議と力が湧いて、自分にも他人にもやさしくなれそう」な作品も数多く残されています。その中で私が好きなのは「ともだち」。子どもたちにも読んでほしい本の一つです。



ともだちって いっしょに かえりたくなるひと
ともだちって みんなが いっちゃったあとも まってくれるひと
ともだちって そばにいないときにも いま どうしてるかなって おもいだすひと

先日、学校の階段近くにある「ごみ箱」に、右のような言葉を見つけました。はじめは、よくトイレに書かれてある「清潔に使ってくれてありがとう」と同じように、感謝の気持ちを表しているのだなと思いました。しかし、「あなたのやさしい手」「うつくしばこ」の言葉を目にして、さらに何とも言えない温かさが伝わってきました。これを書いてくれた本人に聞いてみると、『『ごみ箱』は嫌なもの、汚いものを捨てるという感じだけれど、それよりも『拾うとそこが美しくなる箱』の方が何となく気持ちがいいなと思って。』という答えが返ってきました。きっとその人の心がそうだから、そういう発想になるのだろうなと思いました。



ごみをひろってくれて
ありがとう。
学校がきれいになりました。
あなたのやさしい手は、水であらって
きれいにしてほしいです。
うつくしばこより

「ウザ」「キモ」「死ね」…そんな言葉を耳にするたびに心が痛みます。ゲームなのか、テレビなのか、動画なのか、SNSなのか、身近な年上の人なのか…そういう環境の中で自然に覚えたのだろうと想像しますが、自分の気持ちをそんな言葉でしか表すことができないのはあまりにも言葉足らずで、かわいそうだなと思ってしまいます。

美しい心が美しい言葉に自然と表れるのかも知れませんが、美しい言葉を使うから美しい心になっていくのかも知れません。逆もしかり。心と言葉はつながっています。やさしい言葉に囲まれて暮らしていればやさしい人に育つでしょうし、乱暴な言葉に囲まれて暮らしていれば、乱暴な心で乱暴な言動が多くなるのは当然だと思います。子どもが言葉を変えたいような環境づくりや、子どもが使う言葉が知らず知らずのうちに変わっていくような手本の姿であること、豊かな言葉で語りかけることが、私たち大人の役目だろうと思います。

「言葉」の語源「ことのは」に「葉」という漢字が使われるようになったのは、平安時代に紀貫之が執筆したとされる「古今和歌集仮名序」からと言われ、そこにはこう記されています。

やまとうたは、人の心を種として、万（よろず）の言の葉とぞなれりける

（和歌は、人の心を種として、葉っぱのように生い茂っている言の葉である）

遠い昔のこの時代、心の中を「言の葉」にのせて和歌を詠み、美しい和歌は国を安泰にする力があると考えられていました。生い茂る葉のように人の心が豊かになり、平和で豊かな社会になっていくことを願っていたのだと思います。

師走。一年を振り返り、新しい年を迎える最も賑やかで厳かな時期を迎えます。多くの人たちとのつながりを深め、喜びを分かち合う「言の葉」に思いを馳せながら、良い年をお迎えください。今年一年のご支援とご協力に心から感謝申し上げます。

修学旅行 日本のお都 東京へ

あおぞら学年は12月11日～12日、小学校生活での大きな思い出の一つ修学旅行に行ってきました。「あおぞら」学年の名の通り、ずっと秋晴れのあおぞらに恵まれた2日間でした。

新幹線の車窓から見えた富士山に歓声が上がり、国会議事堂を見学して政治の中枢を体感しました。未来科学館で様々な不思議を体験し、東京タワーから眺めた首都東京の夜景、豪華なホテルでの夕食と宿泊…どれも驚きの連続でした。2日目は、浅草仲見世で買い物を楽しみ、上野では上野動物園、国立科学博物館、東京国立博物館のコースにわかれてそれぞれ本物にふれ、感動しながらたくさんのおこを学んできました。



これがあの国会議事堂



科学の力はすごい



スカイツリーが見える



夜空にそびえる
東京タワー



動物はかわいいな



くじらを持ち上げる!?



雷門です

けやきっ子班で楽しんだ 風船バレー

集会委員会の新企画「風船バレー」が行われました。けやきっ子が仲良くなることをめあてに、全校生からの意見をもらって新たに企画した活動です。一つの風船をいかに落とさずにつなげられるか、…「いくよー」「〇〇さん、お願い!」「ギリギリセーフ!」班のみんなの声が体育館に響きました。風船が1回、2回とつながる度にみんながどんどん仲良しになっていくようでした。にこやかな表情と明るい歓声に包まれた時間は、子どもたちにとってかけがえない宝物です。



4年生 手話であつたかい交流会

「福祉」をテーマに総合的な学習を進めている4年生が、市社会福祉協議会、県聴覚障がい者情報支援センターのご協力を得て、耳の不自由な方との交流会を開きました。健常者が気づかない生活の中での不便さやそれらを解決する工夫、何より前向きに明るく生活を送っていらっしゃる姿から、多くのことを学びました。子どもたちが企画した手話を使っての歌やクイズも大変喜んでくださり、「お互いにとって、とても有意義だった」との言葉をいただきました。関係者の皆様、ありがとうございました。



学校の様子についてホームページでお知らせしています。
ぜひご覧ください。

